

2019年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（9月3日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 <small>(注意:平成31年4月時点の学年)</small>	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の <請求先>	申請書類の <提出先>	提出期限
山口県高度産業人材確保事業に係る奨学金返還補助制度(2次募集)	修了等ののち、山口県内の製造業(製造業を営む企業の山口県内の事業所)で6年間就業すれば、貸与を受けた2年間分の奨学金の全部または一部を補助します。 なお、補助金は毎年度、勤務実績に応じて交付します。	返還支援	理系大学院 修士1年生	対象者に決定してから2年間での借入金額の返還を補助 (上限有。日本学生支援機構のものには限らない)	返還支援	20名程度	山口県産業戦略部プロジェクト企画推進室ホームページ(リンク)	山口県産業戦略部プロジェクト企画推進室ホームページ(リンク)	8月30日～10月4日 (応募書類必着)
林レオロジー記念財団	1)未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理工学部系の大学院生及び大学生。もしくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系統の大学院生及び大学生を対象とし、かつ以下の①～③の全てを満たしている者。 ①令和2年4月に大学3年もしくは4年に進級する人、または大学院前期(修士課程)の1年生に進学を希望する人もしくは大学院前期(修士課程)の2年生に進級する人。 ②品行方正で学習意欲の高い人。 ③学業成績が一定水準以上の人。 2)前年度応募者及び前年度奨学生も応募資格を有するものとする。 3)他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合であっても、応募資格を有するものとする。	可	令和2年4月現在で 学部学生 3～4年生 大学院修士課程 1～2年生	学部学生 月額3万円 大学院生 月額5万円	給付	(本学から) 学部学生 各学部 3名程度 大学院生 各研究科 3名程度	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	11月15日 16:00厳守
公益財団法人 鹿児島育英財団	次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑤までの全てに該当する者 ①鹿児島県内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下、「高等学校等」という。)を卒業した者。 ②鹿児島県外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子弟で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という。)に在学し、令和3年3月(令和2年度中を含む。)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④日本学生支援機構第一種奨学金又は鹿児島育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者。 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ県内居住を希望する者。 ⑥鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等を受給していない者 ※大学等入学時に、当財団の大学等入学時奨学金(地方創生枠)の奨学生として採用され、送金を受けた者は申請できない。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和3年3月<令和2年度中を含む>に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者)	在学中に借り受けた奨学金の全額 ※ただし、返還期限猶予の適用を受けた場合は、その期間相当の奨学金を除いた額とする。ただし、大学等卒業(修了)後、引き続き上級学校へ進学した期間は支援対象に含める。	返還支援	20人程度	公益財団法人鹿児島育英財団ホームページ(リンク)	公益財団法人鹿児島育英財団ホームページ(リンク)	8月1日～12月6日 (応募書類必着)
三重県 (奨学金返還支援制度)	以下のすべてに該当する者 1. 申請時に最終学年の1年前の学年以上の在学生在で、就職先が決まっていない者 2. 指定地域への定住を希望する者 ※指定地域は募集要項に記載 3. 常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者(ただし公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 平成31年3月31日時点で35歳未満の者	可	学部3年生以上 大学院1年生以上	在学中に 借受予定の奨学金 総額の1/4 (上限100万円)	返還支援	20名	大学 (学生支援チーム) (12/27までに学生支援チームへ推薦書作成を依頼すること)	三重県戦略企画部ホームページ(リンク)	1月17日 (17時) (応募書類必着) ※郵送の場合は配達証明郵便を使用すること
徳島県奨学金返還支援制度	以下の(1)～(4)すべてに該当する者 (1)日本学生支援機構奨学金等(徳島県が認めるもの。)の貸与を「受けている方」又は「受けていた方」(既卒者にあつては返還残額がある方(滞納がある場合を除く)) (2)徳島県内の事業所に正規職員として就業を希望する方(公務員を除く) (3)大学、短大、大学院、高等専門学校、専修学校専門課程(大学等)を規程の「卒業年度」に卒業し規程の「卒業開始期間」内に就業する方 (4)徳島県内に定住することを希望する方	記載なし	令和元年度、令和2年度に卒業する方	①日本学生支援機構無利子奨学金借受総額の1/2(上限100万円) ②日本学生支援機構有利子奨学金借受総額の1/3(上限70万円)	返還支援	150名程度	徳島県政策創造部/県立総合大学校本部	徳島県政策創造部/県立総合大学校本部	8月1日～12月20日 (当日消印有効)
似鳥国際奨学財団	1:日本国籍を有する者(永住権を有する者も可) 2:2020年4月時点で学部課程の2.3.4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者も応募可能。 ※ただし、「修士」・「博士」・「全日制以外の学生」・「短期大学生」は応募対象外とする 3:学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の有効親善に寄与できる者。 4:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の授業料減免は認める。 ②当財団奨学金と他給付型奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。 ③当財団奨学金と同時に他給付型奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の奨学生資格が取り消され、重複期間中の奨学金を全額返済しなければならない。	給付型奨学金は不可 貸与型奨学金、授業料減免は可	2020年4月時点で日本国内の大学の2.3.4年に在籍・在籍予定の日本人学生	自宅生 5万円(月額) 自宅外生 8万円(月額)	給付型 (1年間支給)	最大100名 (上期・下期併せて)	似鳥国際奨学財団ホームページ(リンク)	似鳥国際奨学財団ホームページ(リンク)にてWEBエントリー	10月31日 (締切が早まる可能性があるため、早めのエントリーを推奨)
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 1/2ページ	月額 5万, 8万, 10万円	貸与	20名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前まで	10月31日 (1次)8月31日

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
別添「選考要項」参照	選考要項の「1」に動かし、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	入学生(入学前)・学部生 学部生	月額 4万, 5万, 6万 円	(無利子)	300名	別添「選考要項」参照	提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること	(2次)1月31日 10月31日
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の 学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除制度あり)	記載なし	津生協病院 ホームページ(リンク)	津生協病院 ホームページ(リンク)	随時

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2020年1月31日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)